

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、観光事業特別会計における
経営健全化計画の平成 22 年度実施状況をお知らせします。

経営健全化計画の平成 22 年度実施状況

第 1 計画と具体的な措置の状況

1 料金その他の収入に関すること

効果的、積極的な広告宣伝、観光キャンペーンの展開

高速道路 E T C 割引制度による効果を踏まえ、関西圏 2 箇所（大阪・神戸）九州圏 2 箇所（福岡・鹿児島）及び中国圏 1 箇所（広島）において、観光キャンペーンを実施した。

また、広告宣伝については、テレビ・ラジオスポットを中心に新聞、雑誌、インターネット等で約 300 本、電照看板 5 件（JR 新山口駅・山口宇部空港・JR 小倉駅・西鉄バス・天神バスセンター）その他高規格道路小郡萩道路開通に伴い高速道路 S A 1 2 箇所にパンフレットを設置し、積極的に集客活動を行った。

新たな観光戦略として、平成 22 年度から 2 年間、美祢市観光アドバイザーとして英漢字書家の國重友美氏（山口市出身）に就任していただき、観光ポスター・観光パンフレットの作成、秋吉台上での書道ライブパフォーマンスイベント等に関わっていただき、またアドバイザー本人も全国版テレビ番組やホームページ・ブログ等を通じて、新しい視点での美祢市の魅力の情報発信を実施した。

なお、3 月に東京で開催される中国ブロック情報発信会に参加予定であったが、東日本大震災発生のため、中止となった。

広域的かつ継続的な修学旅行等の団体客誘致活動の展開

九州新幹線全線開通に伴い、山口県観光連盟及び美祢市観光協会と連携し、鹿児島市内の教育委員会及び中学校 39 校及び熊本市内の教育委員会・旅行代理店及び小学校 79 校へ修学旅行誘致活動を行った。

また、山口県・国際観光推進協議会と連携し、東アジア（台湾）に向けての観光客誘致活動を行った。

施設ごとの特性を活かしたサービスの充実や積極的な情報発信等

従来の整った環境での観る観光から体験型観光のニーズの高さへ対応した秋芳洞冒険コース・闇のロマン探検、景清洞探検コース及び新たな体験メニューとして長登銅山文化交流館の鑄造体験などの情報を積極的に発信した。

2 経費の削減に関すること

民間委託の推進

秋芳洞案内業務については、可能な限り早い時点で民間委託することとしており、引き続き、委託先、その方法等の検討を行っている。

職員数の削減と臨時・委託職員の勤務の見直し

平成 22 年度においては、施設管理係の職員を 1 名、業務 1 係（秋芳洞案内業務）の職員を 5 名減員し、その不足分を委託職員により対応した。

稼働率に応じた施設の営業時期等の見直し

トロン温泉について、閑散期の営業時間を1時間短縮し、入浴施設の一部を閉鎖した。また、休業日についても見直しを行った。

指定管理者制度の導入の拡大や見直し

指定管理者制度を導入している秋吉台家族旅行村以外の施設については、秋吉台リフレッシュパークの包括的な指定管理者制度と業務委託による民間活力の導入について、利用者の利便性及び管理運営コスト等を比較し、どちらの方式がより効果的であるかの検討を行っている。

第2 資金不足額解消の状況

単位:千円

年度 区分	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)
当初計画 A		159,138	250,215	264,543	245,284	261,396	132,072
解消実績額 B		221,882	184,998	-	-	-	-
現在計画 C		-	184,998	264,543	245,284	261,396	134,545
B - A又はC - A		62,744	-65,217	0	0	0	2,473
資金不足額	1,312,648	1,090,766	905,768	641,225	395,941	134,545	-

第3 資金不足比率の状況

単位: %

年度 区分	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度) 計画値	計画初年度 (平成21年度) 実績値	平成22年度 (第2年度) 計画値	平成22年度 (第2年度) 実績値	平成23年度 (第3年度) 計画値	平成24年度 (第4年度) 計画値	平成25年度 (第5年度) 計画値	平成26年度 (第6年度) 計画値	備考
資金不足比率	169.5	141.1	135.2	113.1	128.7	77.8	49.5	16.6	-	入洞者数が計画数値を下回ったため

第4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

1 美祢市総合観光振興計画での位置付け

平成22年度に美祢市総合観光振興計画を策定しており、策定過程において、各種アンケートや意見交換会等を実施し、課題の洗い出しを行い、平成26年度までに優先的に実施する重点プロジェクト9項目を定め、振興策と経営健全化を実施して行くこととしている。

2 施設のあり方や経営形態の将来的な方針

養鱒場について、指定管理の導入の検討を行ったが、専門知識を要する養殖といった観点、現在の経営形態から、指定管理の導入は困難な状況である。そのため、販路拡大や釣り堀での使用料収入の増加を目指した取り組みを行っている。

3 施設の改修

国の交付金事業により、秋芳洞の洞内照明をLED化し、消費電力の節減に努め、更に、黒谷出口の人工トンネルにアートパネルを設置し、視覚的变化による疲労感の緩和などを行い、秋芳洞のイメージアップの取組を行っている。

4 その他

経営管理能力の向上のため、研修セミナーに積極的に職員を派遣し、人材育成に努めている。また、接遇研修を充実させ、来客の満足度を高める取組を行っている。